

評価問題例

式からはかり方を考えさせる。

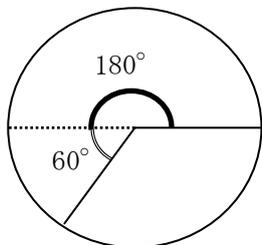
算数 角とその大きさ

4年 名前 ( )

- ① 1 ホールのケーキがあります。そのうちの  $240^\circ$  を切って食べることにしました。つばさくんは、 $180^\circ + 60^\circ = 240^\circ$ 、みらいさんは、 $360^\circ - 120^\circ = 240^\circ$  と計算して、はかって切ることにしました。どのようにはかったのか、二人の考え方を図と文章で説明しなさい。

つばさくん

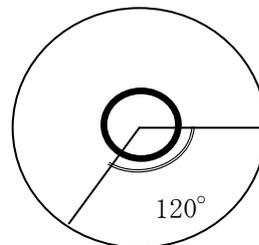
式  $180^\circ + 60^\circ = 240^\circ$



まず、 $180^\circ$  の場所に補助線を引きます。次に、補助線から  $60^\circ$  をはかります。最後に、 $180^\circ$  と  $60^\circ$  を足して  $240^\circ$  になります。

みらいさん

式  $360^\circ - 120^\circ = 240^\circ$



よぶんの角  $120^\circ$  をはかります。1 周  $360^\circ$  から  $120^\circ$  を引いて、のこりが  $240^\circ$  になります。

相手を意識してよく分かるように図と文章で書いて説明させる。

評価問題のポイント

$180^\circ$  より大きい角のはかり方には多様なはかり方があるが、 $180^\circ$  の場所に補助線を引いて、 $180^\circ$  から残りの角をはかって足す方法と、1 周  $360^\circ$  から余分の角を引く方法の 2 通りのはかり方が早く正確にはかることができる。

上の問題は、上述の 2 通りのはかり方を式から読み解くものである。図を活用して説明すると分かりやすい。文章の記述は、相手を意識して説明する表現力の育ちを見取るためのものである。授業においても、自分の思考を文章化する場面を設定するなど、常に相手を意識して筋道を立てて説明できるようにさせたい。また、自分の考え方を文章で書くことによって、考え方を整理したり振り返ったりして、自分の考えをまとめるとともに、友だちに自分の考えをわかりやすく伝える力を伸ばしていきたい。